



令和5年3月24日 発行
東京都立しいの木特別支援学校
校長 高橋 昌樹
担当 山田 麻衣
電話 0436-66-2790

第11号
(学校便り)

＜ 令和4年度卒業式 参列者の拍手に見送られ 新たな活躍の場へ ＞

例年よりも早く桜の花が咲く中、3月23日(木)、令和4年度本校卒業式が執り行われました。小学部児童1名、高等部生徒8名の卒業生は、全課程を修了した証である卒業証書を授与され、それぞれの思いとともに小学部、高等部を卒業していきました。高等部卒業生は、不安な気持ちと明日から始まる新たな生活への期待を胸に、参列者からの拍手と励ましの言葉に見送られ巣立っていきました。今後の活躍を願っています。今回の卒業式は、3年ぶりに来賓者及び東京都教育委員会代表の参列があり、東京都千葉福祉園長 松尾正純様から温かいお言葉をいただきました。深く感謝申し上げます。

この3年間、卒業生は、新型コロナウイルス感染症の感染防止のため、マスクの着用や黙食の励行、学習活動や行事での三密防止の徹底などで、制限を受けることが多い学校生活でした。そのような状況でも、日帰りで行った鴨川シーワールドは、買い物を楽しむことができ、仲間との思い出ができたとの卒業生の言葉がありました。児童・生徒は、制限がある中でも、目標をもってたくましい生き、良き仲間、先生とともに社会で必要な力を身に付けてきました。ご卒業おめでとうございます。

＜ 令和6年度末 しいの木特別支援学校閉校について (御報告) ＞

2月2日(木)、東京都教育委員会は、第二回定例会において、しいの木特別支援学校を令和6年度末で閉校することを承認しました。隣接する千葉福祉園の障害児入所施設が、令和6年度末で廃止予定であり、昭和44年に、東京都養育院千葉分院(現 千葉福祉園)に入所する児童・生徒の適切な就学先を確保するために設置された本校の役割が終了することになります。また、令和7年度以降、のびろ学園の児童・生徒のみが在籍することとなるため、集団による教育活動に影響が生じることになります。以上の理由により、しいの木特別支援学校は、令和6年度末に閉校することになりました。

なお、のびろ学園入所者のうち希望する方については、令和7年度から新たに(現しいの木に)設置される「分教室」において、引き続き、通学することが可能となります。

これまで、開校以来、本校を支えてくださった地域、関係機関の皆様、卒業生及び卒業生の保護者の皆様、旧本校職員に皆様には、これからも本校の教育活動に御理解をいただき、閉校後も本校が培ってきた人権擁護の精神を継承し、誰一人取り残さず、しいの木の子供たちが将来への希望をもち続けられるよう、御協力をお願いいたします。
(校長 高橋 昌樹)

福島県震災施設視察

3月10日(金)から11日(土)の2日間、人権尊重教育推進校の研究に伴う福島県震災施設視察のため、高橋校長と共に、福島県双葉郡富岡町を訪問いたしました。震災遺構視察と共に、被災地で生活する方々から、震災当時から現在まで、またこれからの復興に向けての課題などのお話を直接伺うことができました。

当時、ホテルを営んでいて被災し、7年間の避難所生活を余儀なくされた方からは、知人が震災で犠牲となり、避難所での悲惨な光景を目の当たりにして無力感を感じると同時に、自分が何かしなければと、「富岡インサイド」という情報発信サイトを立ち上げ、10年にわたり、支援物資や集会の情報を発信し続けたとのことでした。当時、食料品店を営んでいて被災し、いわき市へ避難した方からは、とにかく今できることを始めようと、地元商店の仲間と仮設の食料品店舗を開設し、その後、同じ仲間と富岡町駅前にホテルを新設されたとのことでした。現在消防団長を務める方からは、3500名ほどの避難者ですし詰め状態の避難所では、プライバシーが保たれないことが何より大変だったとお話をお聞きしました。その他、富岡町役場企画室の方2名から、町の今後に向けての思いを伺うことができました。

それぞれの方にお話を伺う中で、皆さんが口々に言われていたのは、今ある目の前のことを一つ一つ積み上げていくしかない、ということでした。「復興」という大きなものに向かっていく気持ちはない。人が戻り生活に戻る、日々の暮らしを見ていただくことが全てなので、そのために少しずつ進むしかない。今回、直接お話を伺うことで、そのお気持ちを肌で感じることができました。

今回伺ったお話は、すべて動画に収めており、来年度の高等部修学旅行(福島県)の事前学習等で、本校生徒に紹介する予定です。体験者の生の声を聴いてもらい、震災のことをより身近に感じてもらえれば、と考えています。
(文責:安藤 正樹)

4月の予定

1	土	
2	日	
3	月	
4	火	
5	水	春季休業日終
6	木	1学期始業式 11時40分下校
7	金	入学式 11時40分下校
8	土	
9	日	
10	月	給食始
11	火	尿検査(千葉福祉園生)
12	水	
13	木	短縮授業 13時50分下校
14	金	
15	土	
16	日	
17	月	
18	火	尿検査(2次)
19	水	避難訓練、短縮授業 13時50分下校
20	木	しいの木集会、安全指導日 内科検診
21	金	
22	土	
23	日	
24	月	耳鼻科検診
25	火	
26	水	眼科検診
27	木	歯科検診
28	金	授業参観日、全校保護者会 短縮下校日 14時40分下校
29	土	昭和の日
30	日	

小学部～1年を振り返って～

転入生を含め、6名で今年度の終わりを迎えることとなりました。好きな活動だけではなく、授業で取り組んでいる活動に少しずつ興味をもち、挑戦してみようとする姿が色々な場面で見られるようになりました。少し不安だった買い物学習も、自信をもってレジに行き、支払いができるようになりました。様々な楽しい行事を経験し、笑顔溢れる学校生活を送ることができました。

進級・進学しても、これまで身に付けた力を生かし、新しい場所で十分に力を発揮してほしいと思います。

保護者の皆様、1年間ご協力とご理解をくださり、ありがとうございました。



(文責：山田 麻衣)

中学部～1年を振り返って～

1年間、活動を積み重ねたことで生徒たちは、クラスメイトを意識して行動できる場面が増えました。遅れている生徒がいる時は、「一緒に行こう。」と呼び、待ったりすることが自然とできるようになりました。防災教室でも、福祉園の生徒と一緒に新聞紙を折る場面、友達と一緒にエプロンづくりを行う場面など、友達を意識して活動に取り組むことができるようになりました。

今年度身に付けた力を新しい学年でも発揮して、更なる成長を今から楽しみにしています。



(文責：江口 太郎)

高等部 ～1年間を振り返って～

今年度、余暇の充実のために新設した「しいの木タイム」は、生徒達にとって金曜日最後の楽しみな時間になりました。9月には2年ぶりに宿泊を伴った防災訓練を行い、生徒達は学校が避難所になった際の様子を体験することができました。高等部2年生の校外学習では、東京ドイツ村へ行った際に撮影を行い、後日プロモーションビデオを作成するというICTを活用した学習を行いました。1月には主権者教育を兼ねて、しいの木祭実行員の選出を行い、開会式や閉会式の準備を生徒主体で進めました。2月に実施した、しいの木祭はインフルエンザ感染の影響で規模を変更しての開催でしたが、後日、しいの木祭事後学習で高等部3年生の舞台発表を行うことができました。演目が終わった後の生徒たちの充実感のある表情が印象的でした。生徒たちはイベントや行事を区切りに成長しました。保護者の皆様には1年間ご協力いただき感謝申し上げます。

(文責：古山 武)

